

当面の病害虫防除(4月)

平成25年4月

JA全農ちば 営農販売企画部

1 はじめに

①ハウス内の温度・湿度管理

厳しい寒さが続いておりましたが、3月になりようやく暖かい日が続くようになりました。しかし三寒四温といわれるよう、依然として寒い日も訪れ、暖かい日との温度差も大きいようです。そのため、ハウスでの温度・湿度管理に注意が必要です。多湿は病害の発生原因となりますので、ハウス内が蒸れすぎないように天候にあわせた換気を行いましょう。

②露地作物のべと病・疫病

3月になり温度も上昇してきましたが、霧・もやの発生も見られるようになりました。3月下旬ごろには県内でも濃い霧が発生し、また4月上旬には強い降雨もありました。このようなほどよい暖かさ(約15~20℃)と多湿はべと・疫病の好適条件です。べと・疫病は発生するとすぐに蔓延してしまいますので、早めに予防散布を行いましょう。

2 ネギ

①べと病

15~20℃ほどの温度と多湿を好むため、今後の発生・蔓延が予想されます。感染から発病までの期間が非常に短く、防除が疎かだと数日で圃場全体に拡大します。発病前から予防的に防除を行うことが重要です。



発生初期には葉身がぼんやりと薄い黄色になります

○ネギ ベと病防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	備考
予防	ペンコゼブフロアブル	600	14日前まで	3回以内	さび病登録
	ランマンフロアブル	2000	3日前まで	4回以内	
	ダコニール 1000	1000	14日前まで	3回以内	葉枯病登録
予防・治療	プロポーズ顆粒水和剤	1000	14日前まで	3回以内	葉枯病登録
	リドミルゴールドMZ	1000	30日前まで	3回以内	
	フェスティバルC水和剤	1000	14日前まで	3回以内	

※同成分を含む農薬

- ・ペンコゼブ、リドミルゴールドMZ (マンゼブ：成分使用回数3回) を含むため、併せて3回以内。
- ・ダコニール、プロポーズ (TPN：成分使用回数3回) を含むため、併せて3回以内。

②葉枯病（黄色斑紋病斑）

適温20～25℃、多湿を好む病害です。近年、秋季・春季（3月ごろ～）での発生が見られます。被害は葉先や葉身の中央などに現れ、品質に影響する場合もあります。



葉身に現れた黄色の斑点。
後に拡大して黄色斑紋病斑となります。

○ネギ 葉枯病防除薬剤

	薬剤名	希釀倍数	使用時期	本剤使用回数	備考
予防	ダコニール1000	1000	14日前まで	3回以内	べと病登録
	ベルクート水和剤	2000	30日前まで	3回以内	さび病登録
予防・治療	アミスター20 フロアブル	2000	3日前まで	4回以内	べと病、さび病登録

3 スイカ・メロン 整枝・交配期の防除

①つる枯病

24℃前後で多湿条件を好み、病斑部からヤニを出すのが特徴です。初発生後の蔓延速度が急速なので、初発生を見逃さないよう注意しましょう。地際より発生するので、株元まで農薬がかかかるよう丁寧に散布することが重要です。

②べと病（メロン）

水を介して伝染し、感染から発病までが早く、急速に被害が現れます。病原菌は土壌中に存在するので、つるが通路まで伸びると、病害が発生しやすくなります。



つる枯病



べと病

③防除ポイント

●病害虫が発生しやすい時期

- ・整枝後（つる引き後）・・・作物に傷がつき病原菌が侵入しやすくなっています。
- ・交配中で薬剤散布が行えない期間 ・・・ ミツバチ導入前に防除を行いましょう（ハチへの影響日数に注意）。

●薬剤がかかりにくい部位

スイカ、メロンの病害は株元（つる枯れ病・うどんこ病）や地表と接している部分（べと病）から発生します。薬剤がかかりにくい部位なので、株元・葉裏まで丁寧に農薬を散布しましょう。

○スイカ つる枯病防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	備考
予防	ベルクートフロアブル	1000	前日まで	4回以内	炭そ病・うどんこ病 ・菌核病登録
	ペンコゼブフロアブル	600	7日前まで	7回以内	炭そ病登録
	ダコニール 1000	1000	3日前まで	5回以内	炭そ病登録

○メロン つる枯病・べと病防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	備考
予防	ペンコゼブフロアブル	600	7日前まで	5回以内	
	ダコニール 1000	1000	3日前まで	5回以内	うどんこ病登録
	ベルクートフロアブル	1000	前日まで	5回以内	べと病登録はなし うどんこ病登録
	ランマンフロアブル	1000	前日まで	4回以内	つる枯れ病登録はなし

○スイカ アブラムシ類防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	ミツバチ影響日数	備考
	チェス顆粒水和剤	5000	3日前まで	4回以内	2日	
	モスピラン顆粒水和剤	2000～4000	3日前まで	3回以内	1日	コナジラミ、 アザミウマ登録

○メロン ア布拉ムシ類防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤使用回数	ミツバチ影響日数	備考
	チェス顆粒水和剤	5000	3日前まで	4回以内	2日	
	バリアード顆粒水和剤	4000	前日まで	3回以内	1日	コナジラミ、 アザミウマ登録
	モスピラン顆粒水和剤	8000	3日前まで	3回以内	1日	

4 予防剤の使用回数に注意

ベルクートフロアブル(水和剤)、ペンコゼブ(ジマンダイセン)フロアブル、ダコニール 1000 は複数の病害を予防でき、感受性低下の恐れも少ないため使いやすい予防剤です。しかしこれら薬剤の成分との混合剤も多いため、成分総使用回数の超過に注意が必要です。特に施設野菜(トマト・キュウリなど)やネギのような栽培期間が長い作物は要注意です。

• 同成分を含む薬剤

薬剤名	成分名	主な混合剤
ベルクート	イミノクタジンアルベシル酢酸塩 (イミノクタジン)	ファンベル顆粒水和剤、ポリベリン水和剤 など
ペンコゼブ	マンゼブ	リドミルゴールドMZ、カーゼートPZ水和剤、 フェティバルM水和剤 など
ダコニール	TPN	プロポーズ顆粒水和剤、ドーシャスフロアブル など

下記の情報も活用下さい。

H25年版更新しました！

この情報のカラー版や、その他の営農情報は全農ちばHP内営農情報コーナーにて公開中！